

## 【問題づくり】

- ・③なぜ「二年生になってしあわせ」なのか？
- ・⑧なぜ立派なことをしたくなったのか？
- ・⑫宿題を始めようとした時、なぜ外が気になったのか？
- ・⑬⑭なぜコスモスが歌を歌っているように思ったのか？
- ・⑰なぜ「半分ぐらいなきそう」で「もう半分はおこりそう」なのか？
- ・⑲なぜもう一度ノートを見たのか？なぜ「じっと。ずっと。」見たのか？
- ・⑳もう一度ノートを見た後、なぜすみれちゃんは笑い出したのか？
- ・㉑かりんちゃんが描いた絵を、なぜ「けしかけて、でもけすのをやめて、すみれちゃんはずぎのページをひらいた」のか？

## 【問題の精選】

妹が自分のノートに絵を描いたことに対して、すみれちゃんは最初「半分ぐらい泣きそうで、もう半分は怒りそう」だったのに、もう一度ノートを見た後なぜ笑い出したのか？

## 【教材解釈】

### 1 場面

歌を作るのが好きなすみれちゃんは、また一つ歌を作り、自分自身は“優しくて元気なお姉さん”であること、“妹のかりんのお姉さん”であること、2年生になって“1年生のお姉さん”にもなったことに自負している。また、2年生になって学年が1つ上がり、お姉さんとしての自覚が強くなり、幸せも感じている。

〈気になる言葉・押さえない言葉〉

- ・すごい(すごく)・・・「とても・非常に」等、程度がはなはだしい様子を表す意の口頭語的表現。
- ・でしょ(だろう)・・・上昇調のイントネーションを伴って、確認を表す。聞き手が同意してくれることを期待しているという含みがある。
- ・ああ・・・物事に感じた時に発する叫びに似た声。(感嘆・悲しみ・喜び・嘆き等を表す)
- ・幸せ・・・(その人にとって)幸運(幸福)であること。また、その状態だ。

### 2 場面

10月の日曜日の気持ちよく晴れた朝、すみれちゃんはまた「お姉さん」の歌を歌っていると立派なことをしたくなり、朝のうちに宿題をすることにした。しかし、宿題を始めようとしたら、外の花壇に咲いているコスモスが気になり始めた。そのコスモスは、春に種を蒔いたコスモスで、恐らくすみれちゃん自身で蒔いたものではないかと考えられる。それが花壇一面に咲いていたこと、風に吹かれて一斉に揺れ、それがコスモス全体で歌を歌っているように思えたことが、すみれちゃんの目に移った。自然とコスモスの歌を口ずさむようにもなり、その後庭に出てそのコスモスに水をやりに行くことにした。

〈気になる言葉・押さえない言葉〉

- ・偉い・・・人格・言動等が他より優れていて、立派だ。
- ・立派な・・・内容(外観)が優れ、多くの人から称賛を受ける様子だ。
- ・たら・・・後に表現される出来事が、前に表現される出来事に引き続いて起こることを表す。

- ・気になる…どうなるかという先行きの不安が、その人の脳裏を支配する。
- ・自然と…そうしようと思ったのではないのに、事柄の性質からそういう結果になる様子。

### 3 場面

すみれちゃんがコスモスに対して心が惹かれている頃、姉の部屋で2歳になった妹のかりんちゃんが、姉の出しっぱなしのノートに鉛筆で何かを描き始めた。恐らく姉が今心惹かれているコスモスを描こうとしていたのだろう。

〈気になる言葉・押さえない言葉〉

- ・なる(～になる)…名詞や形容詞を受けて、そこで示されたものや状態にものごとく変化する意を表す。

### 4 場面

すみれちゃんは部屋に戻ってくると、妹が自分のノートに何かを描いていることに気づき、半分ぐらい泣きそうでもう半分は怒りそうな状態で妹に対して注意する。自分がノートを出しっぱなしで外に出てしまったことを嘆き、また、勝手に自分のノートに何かを描かれたことに怒りを感じていたのではないかと考える。何を描いたのか知りたかった訳ではないのに「何よ、これ」と妹に怒り口調で言ったところ、さっき自分が水をやったばかりのコスモスの花を描いていたことが分かり、姉はもう一度ノートを見た。もう一度見た理由は、妹が花壇のコスモスを指差したため、妹の描いた絵がコスモスに見えるどうか確認するためである。また、「じっと」「ずっと」見ていたのは、自分が心惹かれていたコスモスを妹が描いたこと、2歳になった妹が一生懸命描いたことが姉の心を動揺させ、じっと、そしてずっと見たい気持ちになったのではないかと考える。じっと、ずっと見続けた結果、妹のぐちゃぐちゃした絵が可愛く見えてきて、姉が笑い出すと、妹も揃って笑い出した。その後姉は勉強をするために妹が描いた絵を消そうとしたが、消すのをやめて、次のページを開いて勉強を始めた。消すのをやめた理由は、妹が一生懸命コスモスの絵を描いたこと、自分と同じように妹も勉強しようとしていたことを感じ取り、妹の描いた絵は不要ではないと判断したのではないかと考える。その行為をすることで、すみれちゃん自身の成長やまた新たな“お姉さん”(妹思いのお姉さん?)を自覚できたのではないかと考える。

〈気になる言葉・押さえない言葉〉

- ・もう…それ以上何を言おうとも、そのひどさを表し切れるものではないと、痛切に感じた時に発する語。
- ・じっと…何かに集中したり事態の変化を待ったりして、その間次の行動に移らず動きを止めている様子。
- ・ぐちゃぐちゃ…水気を多く含んだため、形が崩れたり、本来の機能を果たせなくなったりする様子。
- ・よ…主体の意志・感情・判断・意見等を強く相手に押し付けようとする気持ちを表す。
- ・ばかり…まさにそうなる(なった)状態にあることを表す。
- ・ずっと…時間的(空間的)な隔たりや程度の差が、一般に予測されるところをはるかに超えている様子。
- ・笑う…うれしさ・おかしさ等を抑えきれず、目を細めたり口許をゆるめたり、時には声を上げたりしてその気持ちを表す。
- ・なんか(何か)…これだとはっきりとは特定することができない事物や事柄。
- ・ちっとも…(否定表現と呼応して)否定する意を強調して言う語。
- ・かわいい…小さくて頼りない(弱弱しい)感じがするところに親しみやすさを抱かせる様子だ。
- ・見える…そのものが何かによって妨げられることなく、確かにその存在を目で捉えることができる。
- ・～のだ…相手を説得したり自分自身が納得したりする場面で、理由・根拠等を述べることを表す。
- ・消す…不要な存在として、取り除く。

【追求の対象】(4場面)

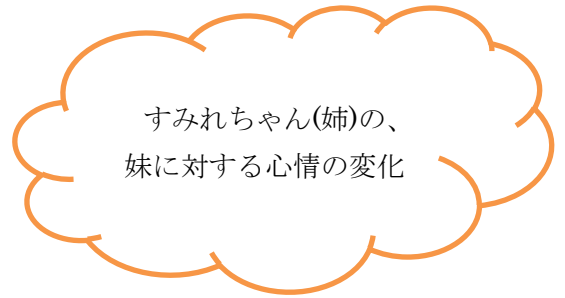
☆⑱半分ぐらい、なきそうでした。もう半分は、おこりそうでした。

⑳自分がなきたいか、おこりたいのか分かりませんでした。



㉓もういちど、ノートを見ました。じっと。ずっと。

「あはは。」すみれちゃんはわらいだしました。



☆㉔かりんちゃんがかいたぐちゃぐちゃのものを見ていました。



㉓コスモスになんかちつとも見えないぐちゃぐちゃの絵が、かわいく見えてきたのです。